

学校関係者評価報告書まとめ

I.学校運営

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	4	5

点数/満点
19 /20

各評価者コメント

個人目標の共有は達成への支援等も配慮できるかと思われる。
共有の方法を検討することも必要。

教職員間で、PDCAサイクルを意識した運営ができている点で、引き続きの問題点や、その対応がしやすい状況となっている。

大項目総括にあるように課題が明確化されているので、次年度に向けて解決すべく目標設定になるのではないのでしょうか。達成度が昨年より下がったのが気になります。

中間評価を実施することで、年度内の計画修正も行え良い結果に結びつく可能性もあり、ぜひ実施を検討して頂きたい。また、評価結果を共有することはそれぞれのモチベーションアップにもつながると考えられ、そちらも検討してもらいたい。

II.教育課程・教育活動

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	5	5

点数/満点
20 /20

各評価者コメント

実習が十分できるように努力している。
ハラスメントに関しては大きな問題はないようだが、社会情勢に合わせて対策等考えておく必要があると思う。

教育課程において、定例会議などを行い、カリキュラムの変更等を共有できている。
また、教員間の授業公開を行い、透明性及び問題意識の向上を図っている。

達成度が昨年度と比較しても同数なので問題がないと思われます。

コロナ禍においても、実習病院と密に調整を行い、実習環境の確保ができたことは、強みの一つであると考えます。ハラスメントについても研修会等実施されており、時代のニーズに沿った教育活動が継続されていくことを期待している。

項目Ⅲ. 入学・卒業対策

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	5	5

点数/満点
20 / 20

各評価者コメント

少子化と大学有利の時世のため、学生の獲得に工夫が必要となっている。
意見交換会のアイデアを活かし、医療センターも優秀な学生獲得に協力していきたい
と考える。

入学選考に際し、応募者の確保に苦労している状況の中、
新たな方法による応募者確保に努めている。
また、国家資格100%を目指して、講義以外でも生徒の指導を積極的に行っている。
卒業後のフォローもできている。

生徒減少期において生徒募集のための様々な方策が取られていると思います。引き続き
国家試験100%実現のために指導して頂けたら良いと思います。

国家試験対策として様々な媒体を使用していること、少人数であることを活かし、教員
とマンツーマンでの対策が行われ、実績に繋がっていることは評価できる。応募者確保
においては、時代に合ったアピール方法が必要と考える。

項目Ⅳ. 学生生活支援

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	4	4

点数/満点
18 / 20

各評価者コメント

レクリエーション等コロナ禍であることも十分配慮しながら努力している。

コロナ禍において、学生間の交流や教員との交流が難しい中で、一定の関係は保たれて
いると判断できるので、今後の支援を期待する。

コロナ禍の為、学生のサークル活動については、以前と比較するのは致し方のないこと
かと思います。

コロナ禍においても学生生活が継続できるよう、健康面・経済面での支援が十分に行え
ていたと思う。コロナの5類移行後は、充実した学生生活が過ごせるようコロナ前と同様
の活動が行える機会をぜひ検討してもらいたい。

項目Ⅴ. 管理運営・財政

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
4	5	5	5

点数/満点
19 / 20

各評価者コメント

法令等を遵守した運営であると感じられる。

成人年齢引き下げに対応するセミナーの開催も行なえており、適正と思われる。

世代による考え方の違いを理解するために必要な努力を行っている。

引き続きハラスメントには、十分配慮した運営をお願いしたい。

特に問題なし

教員がセミナー等に参加し、現代学生の特性を知る努力をされている。ハラスメント対策にも目を向け、常日頃から意識し学生に関わっている様子がうかがえる。今後は多様性に応じた関わり方も重要になってくると考える。

項目Ⅵ. 施設設備

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	5	5

点数/満点
20 / 20

各評価者コメント

十分なベッド数、実習室、図書室など、環境が整えられ、コロナ予防にも配慮されている。

学生が利用しやすい施設整備を行えている。問題点も把握できており、引き続き解決に向けた努力をお願いしたい。

特に問題なし

実習室をはじめとして、教育・実習環境が整備され、授業外にも利用できる体制が整えられており、安心して学べる環境にある。

項目Ⅶ. 教職員の育成

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
5	5	4	4

点数/満点
18 /20

各評価者コメント

適切な外部研修を取り入れているとのこと、継続していただきたい。

コロナ渦における研修等は、ZOOMなどのインターネットを活用したものが多くなり、参加しやすくなった半面、内容の理解が難しくなっている。
その状況においても、フィードバックが確実にできているようである。

学校評価の中で、昨年度と比較しても達成度が一番低く、最重要項目と思われる。研修はかなり多く取り入れられて実施されているので、何をもって教職員の育成とするのかを明確にした方が良いのではないのでしょうか？

新カリキュラムや、刻々と変化する医療現場のニーズに沿った教員の育成が行えている。

項目Ⅷ. 広報・地域貢献・社会貢献

5段階評価（5…適切 4…ほぼ適切 3…どちらともいえない
2…やや不適切 1…不適切）

評価者 A	評価者 B	評価者 C	評価者 D
4	5	5	5

点数/満点
19 /20

各評価者コメント

早期に学生獲得のためのYouTube配信が始められることを期待する。

コロナ渦の中で、限られた状況での広報活動ができている。来年度、新たな取り組みを積極的に行う計画がなされている。

生徒募集にもつながるYou Tube動画を予算化し、3月から公開するなど、新しい取り組みが行われており、素晴らしいと思いました。

幅広く知ってもらうことが重要であり、時代に沿った情報発信の方法（インスタ・ツイッター等）もぜひ検討してもらいたい。